選擧見舞金などで決議

足寄町議会

定例才一回の足寄町議会八日目の二十三日は新年度一般会計予算案審議の大詰めに入ってしめくくりの総括質問をおえて採決寸前となっていました。

矢野議員　北十勝線期成会の緊急役員会はどうだったのか

小林町長　ただちに新得町へ連絡をとり、二十一日の夕方に緊急役員会をひらいた。四十七年度の資料によれば四名の代議士に期成会からなされたのは事実で支出されており、日ごろお世話になっているので佐々木代議士は当時現職の運輸大臣だったので一般と違い陣中見舞として支出しており、公費負担の期成会として反省している

矢野議員　事実であったというが、具体的にこんごどうするのか

小林町長　二十一日は急拠役員会をひらいて新聞報道を確認したもので、こんご再度役員会をひらいて具体的に検討する

などの問答があったあと新年度予算に計上している

△北十勝線鉄道敷設促進期成会　三五万円

△十勝町村会　五九万七千円

△十勝総合開発促進期成会　三六万一千円

の負担金について疑義があるとして、遠山、鳴海、新沼、吉田、矢野の五議員からつぎのような予算にたいする付帯決議案が提出され全会一致で決議しました。

決議

町長は昭和四十九年度足寄町一般会計才入才出予算の執行にあたつては、次の意見書に基づき善処し行政効果を十分発揮するよう努力すべきである。

意見書

一、北十勝線鉄道促進期成会については、昭和四十七年度事業において支出内容に重大な誤りがあると認められるので、昭和四十九年度の同期成会に対する負担金は、その内容が明らかになるまで支出すべきでない

二、十勝町村会並びに共同事業負担金は同組織と思われる中で事業を分離して行ない、さらに町村個々の負担金と重複している面も見られる、今後の在り方については組織及び事業内容の検討を要する

三、十勝総合開発促進期成会における昭和四十八年度の支出内容に理解出来ないものがある

四、上記二及び三の事項については、それぞれの会議等において本町議会の意志を尊重し、改善をはかるよう積極的に努力すべきである

足寄町議会

この陣中見舞

○…一昨年の総選挙にさいして北十勝線鉄道敷設促進期成会（新得、鹿追、士幌、上士幌、足寄の五町）から時の運輸大臣佐々木秀世氏に八十万円、総務長官本名武氏に十万円、中川一郎氏に十万円、松浦周太郎氏に五万円の陣中見舞。

○…いずれも自民党の代議士ばかりで、しかも鉄道に権限をもつ現職大臣であり本名氏は期成会の会長、中川氏は副会長の立場。

○…どうやら新得前町長の平野栄次氏（現在も期成会の副会長）の個人プレイとみられるものの、金は五町の住民の血税。

○…代議士という公務員の職務に関連したワイロともいう金なので、期成会の正式な予算書、決算書には出てこないが新得町の共産党議員が事務局の金銭出納簿から発見したとのこと。

○…こうした金は相手から領収証をとつていないので相手が知らんといわれては困るというのが事務局の心配ですが、その心配どおりにこの〃先生〃のなかでは『ワシは知らん、こんなことを新聞に書き立てられて名誉毀損で訴える』とイキマイている御仁もいるとのこと。

○…たしかにこうした金は〃先生〃に直接ではなく選挙事務所で秘書なり参謀なりに手渡したもので〃先生〃はご存じないことかもしれないとしても、期成会に返金しないかぎりは間接的にせよ〃先生〃が受領したことになること。

「松の湯」移転は不採択

足寄市街中央二、四区自治会からの「松の湯」など建物の移転と仲通り開通の町議会にたいする陳情について建設委員会から『町総合開発計画における道路整備計画はなく、市街地道路の起債が四十九年度からなくなり、町の一般財源のみでは困難である、しかし地区の環境上、防災上、振興発展上から早い機会に実施方針を明確にすべきである』との調査報告があつて不採択との結論を出したのにたいして、大野議員から『百名以上の署名があり早くするために不採択は薄弱ではないか』矢野議員から『議会は採択とすべきだ空家を貸せば地上権が生ずる』湯浅議員から『議会は財源までふれるのは執行権侵害となる』遠山議員から『条件つき採択もある』などの意見が出ましたが、陳情書には四十九年度にと明記してあり議会で訂正するわけにはいかないので、改めて再陳情があればという鳴海委員長の説明もあつて今議会では一応不採択としました。

待望の高原開発

小坂山で起工式

緑の高原都市つくりをめざしている小林町長の構想にマッチして足寄町に進出した関西大手の野上電鉄不動産によるアショロ・ハイランドの起工式は二十七日午前十一時すぎから小坂山の現地に町内外の来賓、関係者など五十余名があつまつておこなわれ、高山義雄社長が鍬入れをしました。

このあと林業会館に会場を移して起工祝賀会をひらき　系列の高山観光の鈴木泰一専務の司会によつて、同じく系列の東和観光の中野勇副社長のあいさつがあつて、総合設計の中島竜彦氏から『一千㌶といえば本州の一町村の面積であり、ここで近代的な都市づくりをする、ゴルフ場は三千人を対象に家族向き九ホール、チャンピオン十八ホールとし、ホテルは四百人収容、町の要望による若人の家も建てる、別荘地は二五〇㌶に三千口、近隣のために野外劇場、スキー場には五〇〇㍍のリフト三基、道路は延一二、〇〇〇㍍になる』と工事予定計画の説明があり、つづいて小林町長から『農振解除がおくれて申しわけないが、なんとか計画どおりに実現して頂きたい、町として大所高所から協力申しあげたい』大滝議長も『系列関連各社とともにぜひ計画を達成して頂きたい』と祝辞を述べ、ついで工事請負の日本道路の川上常務からあいさつがあり中川代議士、渡部道議から祝電披露があつて式をとじ、新沼商工会長の乾杯発声で祝宴に入りました。

問題の道知事による農振解除は二十一日に認可、現地は実測の結果九四〇㌶となり、代金二億円から一千百九十九千九千円を返金して二十六日に所有権移転登記をすませたので、野上電鉄不動産では四月早々からおくれをとり戻すために突貫工事に入ることにしています。

（高山社長の鍬入れ）

足寄ハイランド起工式祝賀会

（中野副社長のあいさつ）

激しかつた農委選

前会長が落選

任期満了による足寄町農業委員会委員の選挙は二十一日に告示、二十八日に投票、即日開票の結果はつぎのとおりですが、定員十五名にたいして十八名の立起で前回より一名増にすぎないものの、今回は地区での公認？非公認？がもつれて全町的に波及した激戦となり、明春の町議選の前哨戦ともなつて二千百四十の票田のうばいあいとなり、オツトリかまえていた近藤前会長が落選というはげしさでした（投票数は一千九百十六票で八九、五三％）

清水秀雄氏	一五二票	昭和、前
辻　浅雄氏	一三三票	下斗伏、前
尾西民男氏	一二五票	愛冠、前
松田数夫氏	一二二票	下足寄、前
岡　武氏	一二一票	芽登、前
西村啓一氏	一一六票	美里別、前
沼田　実氏	一一五票	ラワン沢、元
熊谷勇典氏	一一二票	向陽、新
石井忠利氏	一〇六票	ラワン高台、前
畠　正吉氏	一〇六票	上足寄、前
八木沼　勇氏	一〇三票	稲牛、新
大原善市氏	一〇〇票	中足寄、前
中山　潔氏	一〇〇票	上大誉地、前
小松文雄氏	九四票	塩幌、前
坂東七男氏	八八票	塩幌、新
次点		
内田日出男氏	七三票	南芽登、新
近藤悦朗氏	七一票	足寄、前
佐藤辰治氏	五七票	栄、新

なお、このほかに町議会推薦の委員は香川博彦氏と高橋募氏、農業団体推薦の委員は足農から斉藤祐一氏、開協から今村悦男氏、共済から大滝正雄氏で、改選後初の農業委員会は四月三日にひらき、会長選挙などがおこなわれます。

家具　建材　アルミサッシ
既製家具から注文建具
住宅産業に奉仕する！
有限会社　桜井家具建具店
足寄町北五区　T　二三六二　工場西五区

新柄婚礼衣裳
きものと帯は
㊂久保呉服店
足寄町　T二二一四八

カメラ　八ミリ　写真材料
上野カメラ堂
上野復興
足寄駅通り　T　一五一二

新畳　表替　中古畳　フスマ張替
二段ベッド
敷物一式
マットレス
小林畳店
小林幸三郎
足寄町大通り山口整骨院前　T　二四二八

庭石は道東随一の当会社へご用命下さい
造園　土木　造林　造材　請負
有限会社　大浦建設
足寄町芽登　T　11
大浦　晃

一五〇キロ高速ホイルバランサー
レッカー車
RM　アクリル　調色機
新鋭機　導入！
札幌陸運局認証　整備　板金　塗装
ムトウ自動車工業
ボンコツ車買い入れます　足寄町　T　二五七八

不動産についての御相談は
調査　売買　あつせん　管理　分譲
代行　登記　損害保険　代理まで
同和、興和火災保険代理店
北海道免許十26
足寄不動産事務所
足寄町本通り三丁目　T　二三四五

お墓を新造、改造する方など
お気軽にご相談下さい（無料）
ただし毎日18時から20時まで（日曜は随時）
吉相墓研究会
主幹　高本修司
足寄町中央五区　高本とうふ店　T　二五〇五

マツカラー
スチール　チエンソー代理店
共立
刈払機各種　電動工具　造林用具
打刃物類　（機械迅速修理）
有限会社　鈴木鋸刃物店
足寄町大通り　T　二三〇七